

初期消火技術を競う

第7回屋内消火栓操法大会が11月2日、消防本部訓練場で開催されました。

この大会は、消防本部が松浦市危険物安全協会と共催し、開催しているもので、火災時の的確な通報や初期消火技術等の向上を目的に実施しています。

この日は、市内7か所の事業所が参加。1チーム3人で、119番通報を行ったあと消火栓からホースを伸ばして放水し、消火までの所要時間や動作の的確さを競いました。上位の結果は下記のとおりです。

【男子】①九電産業(株)②九州電力(株)③住商エアバッグ・システムズ(株)【女子】①松浦市役所A

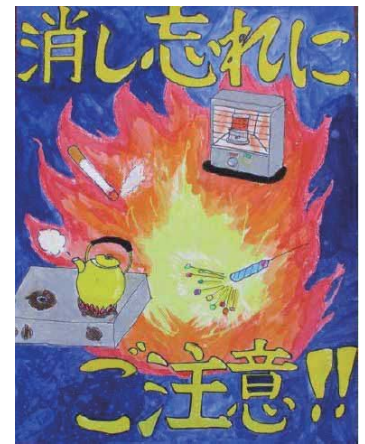


防火ポスターコンクール最優秀賞

令和3年度長崎県防火ポスターコンクールが開催されました。

このコンクールは、ポスターの作成をとおして子どもたちの防火意識の高揚を図り、火災予防の啓発に活用する目的で、県内の小学4年生から6年生を対象に毎年実施されています。

今年は、県内から332作品の応募があり、市内では志佐小6年の宮本 脩平しゅうへいさんが最優秀賞を受賞しました。



老人クラブ大会が開催

第16回松浦市老人クラブ大会が11月5日、文化会館で開催されました。

この大会は「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をメインテーマに、共に生きる喜びを実感できる社会づくりを目的に毎年開催されています。

この日は、米寿顕彰や各種表彰のあと、播磨釜宝生会の小川弘志さんが、「仲間づくりについて」と題し、「みちばたカフェ」や「共同農園」など、地域の特徴ある取り組みについて講演を行いました。



豊作・豊漁を祈願

今年も各地域でくんちが行われました。

星鹿町では11月5日、羽黒神社の例大祭が開催され、神社から星鹿港まで、みこしとともに町民が練り歩き、無病息災、豊作、豊漁を祈願しました。港で神事を行ったあと、みこしを乗せた漁船を先頭に、国旗や大漁旗を掲げた漁船約30隻が星鹿沖を周回し、海上の安全と大漁を祈願しました。

また港では、くんちに合わせて、ほしか保育園の園児によるマーチングも披露されました。



まちの話題

世代を超えて親交を深める

つきっこ保育園（田口松子園長）の園児 13 人が 11 月 9 日、地域の高齢者と親睦を深めるため、介護老人福祉施設愛光園を訪れました。

この日園児たちは、練習を重ねてきた沖縄の伝統芸能「エイサー」を披露。会場は太鼓に合わせて手拍子が送られ、大いに盛り上がりました。また、見ることで楽しんでほしいと、園児たちの写真を集めて桜の木を描いた作品をプレゼント。園児たちは「いつまでもお元気で。また遊びに来ます」と声をそろえました。



高齢者の交通事故を防ぐため

県は 11 月 9 日、高齢者の交通事故防止を図るため「おっと危ない講習会」をすこやか青プラザで開催しました。

講習では、運転者と歩行者それぞれの目線で事故が起きそうな状況を安全・運転者危険予測シミュレーターで体験。安全確認を徹底するなど、丁寧な指導が行われました。

その後、ハンドルを持つ時にも注意するため、機械を用いて左右の手で反応速度に違いが出ることなどを楽しみながら体感しました。



15年ぶりの全国大会へ

星鹿町の剣道道場興星館の選手たちが 11 月 10 日、第 55 回全国道場少年剣道大会への出場を市長に報告しました。

興星館は、7 月に開催された長崎県大会でベスト 8 に入り入賞。1 月 6 日に大阪府で開催される全国大会への切符を 15 年ぶりに勝ち取りました。

大将を務める山口秀翔^{しゅうと}さんは「大きな舞台は初めて。全国のベスト 16 を目標に精一杯頑張りたい」と抱負を述べました。

【出場選手】前田泰知^{たいち}さん、吉田敦登^{あつと}さん、山口秀翔^{しゅうと}さん（全て御厨中 3 年）



早めのライト点灯を呼びかけ

松浦地区交通安全協会（森 務会長）、松浦ロータリークラブ（角田良夫会長）、松浦警察署は 11 月 10 日、日没時間が早くなる秋以降の夕暮れ時の交通事故を防ぐため、早めのライト点灯を呼びかけるキャンペーンを合同で実施しました。

参加者 27 人は、志佐町の街頭に立ち、行き交う車のドライバーに向け、パネルやのぼりを使って早めのライト点灯を呼びかけました。

